

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11276

和歌の浦アート・キューブ管理運営事業（予約システム事

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌の浦アート・キューブ費		
	大事業	和歌の浦アート・キューブ事業		
中事業	和歌の浦アート・キューブ管理運営事業（予約シス			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	宮脇 進 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌の浦アート・キューブ条例、同条例施行規則		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用		和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	137	118	138	120	138	120	138	0	138	0
伸び率(%)	0.7%	△13.2%	0.7%	1.7%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,853	1,853	2,071	2,071	2,017	2,095	1,707	0	2,017
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,853	1,853	2,071	2,071	2,017	2,095	1,707	0	2,017
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	137	118	138	120	138	120	138	0	138	0
所要人数(人)	正規職員	0.23	0.23	0.26	0.26	0.26	0.27	0.22	0.00	0.26
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	機械等借上げ料 138千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
施設予約システム整備		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
システムによる予約件数		%	目標値	900	900	900	900	900
			実績値	978	707	808		
			達成度(%)	108.6%	78.6%	89.8%	%	%
予約件数(全体)		件	目標値	3200	3200	3200	3200	3200
			実績値	2973	2703	2643		
			達成度(%)	92.9%	84.5%	82.6%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民が気軽にパソコンやモバイル端末から予約ができるため、利便性が向上する。
見直し・改善内容	予約システムを活用し、市民が施設を気軽に利用できるよう、より一層の周知利用を促進できるよう努めたい。